

令和7年度 第1回 南大塚保育園 運営協議会議事録

日時：令和7年 7月28日（月）17：30～18：30

場所：南大塚保育園 4歳児保育室

出席者：学歴経歴者 原田晃樹 氏（立教大学 コミュニティ福祉学部教授）

保護者代表 九石 朋絵 ・表 真希 ・柳沢 慧実 ・皿田 祥子
中武 壽美香 ・太田 磨偉希

事務局 吉山 文子（事業団 保育園課長）

保育園職員 近藤 絵美子 園長
門田 洋行 副園長
穴戸 秀子 主任
中澤 建太 主任

司会：吉山 文子

- ※配布資料
- ・第1回 運営協議会 次第
 - ・運営協議会委員名簿
 - ・令和7年度事業計画
 - ・運営協議会設置要綱
 - ・令和7年度 南大塚保育園年間予定
 - ・令和7年度 改修工事について

【 協議事項 】

(1) 委員の委託について 運営協議会委員名簿 参照

(2) 要綱について 運営協議会設置要綱 参照

(3) 会長・副会長について

「運営協議会設置要綱」第3条の3「会長は前項第4号のうちから1を充てます。」より会長は吉山 文子（豊島区社会福祉事業団 保育園課長）が務める。第3条の4「副会長は、第2項第2号の者のうち1人を充てます。」となっているが昨年度で父母の会の活動が終了したため副会長は選任しないこととする。

(4) 委員自己紹介

(5) 令和7年度事業計画

（年間計画は資料参照）

① 事業計画の決定について

「事業計画」は職員に「どのような園にしたいか」のアンケートを実施した。その後は法人の3園で話し合い事業計画を策定した。

事業所目標も職員と案を出し合い、「わくわく のびのび 笑顔あふれる保育園」に決定した。事業団目標の「保育の質の向上」を土台に大人も子どもも笑い合い、わくわく出来るような園を目指していく。

② 事業計画の内容

・「とうきょうすくわくプログラム」の推進拡大

令和6年度のテーマは「音」。活動内容は、子どもたちが身近な音に気付いたり、手作り楽器を製作して音を奏でることを楽しんだ。

「音の集会」の実施、楽器コーナーの設置等、民族楽器にも触れる機会をもてるようにした。

集大成として、アーティストを招き園庭にて「ドラムサークル」を開催した。当日は子どもたちが好きなように太鼓を叩くところから、アーティストが音を鳴らすと段々と一体感を増していき最終的には、1つの「音楽」となり、職員も「わくわく」する経験ができた。

今年度のテーマも、引き続き「音」について活動を行うが、さらに内容を広げ、子どもたちの好奇心や探究心を育てていきたい。

・「保護者との連携強化」について

「保育参観」と「保育参加」を呼びかけていき、園生活から子どもの育ち合いを見てもらう機会を設けていく。

・人材確保と定着

実習生とボランティアを積極的に受け入れ、人材確保につなげていく。

・地域への貢献

「マイほいくえん」や「園庭開放・保育所体験」を実施した。また、近隣の保育園との連携強化として「年長交流」を計画している。小規模連携園を「夏祭り」や「スイカ割り」に招待したりと引き続き連携を強化していく。

小学校とも連携強化を目指しており、年長クラスが「畑の苗植え」に参加させてもらい就学を控えた子どもたちにも小学校を知ってもらう機会になっている。

・働きやすい職場づくり

職員が目標を持ち充実して働けるように、ICT化による業務改善を行っていく。

子どもたちのよりよい生活に向けて1つずつの業務を丁寧に行っていく。

(6) 予定されている改修工事について

1.園舎・保育室に関わる改修工事

①1階ホール及び2階保育室の床の改修工事

工事に伴い運動会の開催が例年より早まるためご理解を頂きたい。

10月中旬より先にホールを工事予定。ホールで午睡を行っている幼児クラスは各保育室にて午睡を行う。2階床の工事期間は1歳児・2歳児クラスはホールで生活をする予定。

0歳児クラスはフロア移動が負担になるため工事を終えた1歳クラスで生活していく。

②1階、2階の乳児・幼児トイレの改修工事（工事期末定）

便座も暖房便座に切り替わる予定で、工事は土曜日に行う。

③非常用滑り台には手すり（設置済み）

④0歳児室棚 耐震ラッチの取り付け（工事済み）

2.その他の工事

① 3階の改修工事（土曜日を利用し工事を行っています。）

東部区民事務所の改修工事に伴い、3階に区民事務所の職員が使用する居室の工事を行っている。
東部区民事務所の職員が一室を5年ほど利用する。利用する職員については名簿をもらう。決められた時間の利用とし、事務所に声掛けののち施設に入るなど安全に留意し進めていきたい。

(7) 保護者より

Q. 性教育は行っている？

A. 幼児クラスを対象に看護師が「からだ集会」を実施した。子ども向け絵本「だいじ だいじ どーこだ」をスクリーンで上映しながら体の大切さを伝えていった。
毎年、職員が個別に行っていた「虐待チェック」を、今年度よりクラス単位で行う。職員間でも子どもへの関わり方を振り返り、適切であったかを確認したいと考えている。

Q. 例年RSウイルスは流行っている？

A. 毎年RSウイルスの流行する時期はある。引き続き感染症対策をしていきながら、園医と感染症情報を交換して細やかに保護者にも共有していきたい。

Q. 乳児クラスでの子ども同士のトラブルで、友達に怪我をさせた子どもの保護者には報告しているか？

A. 時と場合による。受診するような怪我や目に見えるような怪我は保護者に報告するが決して保護者を責めるようなものではない。園での事は保育園の責任と捉えている。乳児は「怒られた」というストレスからさらに手が出やすくなったりもするため、家庭では子どもを叱らずにいてほしい。

Q. 外国人の家庭が増えていますが、保護者とのコミュニケーションはどうしていますか？

A. スマホの翻訳機能や絵カードを使って視覚的にわかるように工夫している。子ども同士のトラブルを4コマ漫画にすることもある。豊島区は外国人家庭が多く各園から「通訳」の要望はあるが現状は難しいため職員間のコミュニケーション力を上げていきたい。

(8) 学識経験者様より

保護者も職員も意見を出せる場として運営協議会を開催している。父母の会は、公立から民営に変わる時に、保育の質が下がることを懸念したことから発足した。民営化の条件として運営協議会があった。父母の会は、昨年なくなったが、保護者がこのような場に参加してもらい、思ったことを発言し共有し合いたい。

(9) その他

(保護者から感想)

- ・園庭遊びを重視するなど、子どもにとって良い園だと思っている。園庭遊びは、リスクを伴うが、職員間がリスク意識をもって、良い保育に取り組んでいる。そうした園の良いところや「大切にしていること」を保護者会やHPでもっと宣伝してもらいたい。
- ・区民広場などで保護者からも地域に口コミで「良い園」と広がったら嬉しい。
- ・職員の負担を減らしていきたい。夏祭りなどの行事だけでなく保育でも協力させてほしい。

以上

記録 南大塚保育園 主任 中澤建太